

ステークホルダーコミュニケーション

当社グループが今後も社会の一員として価値創造を続け、社会的課題の解決に貢献し続けるため、当社グループが何を期待されているのかを的確に捉えるべく、様々なステークホルダーとの対話を重ねています。

環境・安全についての対話



参加従業員数

665名

(2019年実績)

国内外各拠点において、事業所周辺の清掃活動や、地域の交通安全への意識を高める活動などを通じ、従業員の環境や安全意識の向上、地域住民の皆様との対話に努めています。

2019年12月期は、台湾拠点の従業員とその家族による海岸清掃活動など各拠点周辺の清掃活動のほか、献血活動や、御殿場工場周辺の地域住民の交通安全意識向上を促す広報活動に参加しました。また、本社が所在する神奈川県で水源環境等の保全活動を行う「かながわトラストみどり財団」が主催する「県民参加の森林づくり」に参加し、間伐作業などに取り組んでいます。

科学の発展に向けた対話



助成事業

84件 3,540万円

(東京応化科学技術振興財団を通じた
2019年の助成活動)

当社は東京応化科学技術振興財団を通じ、科学技術の向上・発展への貢献に努めています。創業者・向井繁正によって設立された同財団は「資源小国である我が国の発展のためには基礎的研究から積み上げた独自技術の開発と、その産業への応用が人類の平和と繁栄につながる」という向井の理念のもと、研究者の国際交流に対する助成などを通じ、全世界における科学技術の振興と発展に貢献します。

地域社会との対話



来場者数

約1,700名

当社は、社会との共有価値の創造にあたり、地域社会との協調・連携や、信頼関係の構築を重視しており、事業拠点周辺地域の社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。2019年12月期は、地域住民やお取引先とのコミュニケーションの場として、湘南事業所に隣接する当社社宅・独身寮の敷地内にて、33回目となる「納涼祭」を開催しました。また、御殿場工場では、地域の子供たちとそのご家族をご招待し、工場内のピオトープにてトンボ池観察会を実施したほか、郡山工場では、「第22回二工会*納涼祭」に多くの従業員が参加しました。今後も地域住民の皆様との重要なコミュニケーションの場として、これらの取り組みを継続します。

* 郡山工場が所属する郡山西部第二工業団地工業会の略称